

2010年9月19日 544号  
発行責任者 菊池捷輔  
発行 日本共産党  
はせた公子事務所  
伊勢崎市八幡町44番地  
電話・ファックス 25-1130  
ホームページ  
<http://www.jcp-isesaki.net>  
Eメール [haseda@jcp-isesaki.net](mailto:haseda@jcp-isesaki.net)  
お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。



# 公子のフレッシュ便

## 100歳以上住民登録の不明者は無しだが、 本籍があり住民登録の無い179名が不明



伊勢崎市に住民登録されている百才以上の高齢者について、介護保険や医療保険の利用のない方への調査で全員の所在が確認されました。

住民登録はないが伊勢崎市に本籍があり、現住所が不明の百才以上の高齢者について調査をした結果、一七九人が戸籍上存在することが判明しました。住所地で死亡届や失踪(しつそ)宣告などの手続きがあれば、本籍地に連絡があり、抹消されるが、こうした手続きがとられなかったとみられます。

最高齢者は一三二歳の男性です。人口、介護保険、年金などは住民登録で管理されているため、戸籍が残っているも影響はありません。

市は今後再調査を行い、その後法務局と戸籍の削除について協議していく方針です。

### そよ風

本気で養成する気がある？

フリリピンやインドネシアから日本に来て、介護福祉の実技を学び、さて、国家試験を受けようとする漢字が難しくしてほとんど不合格になっている、

と新聞が報じています。私の手元に大正十年、原富岡製絲所が発行した「国の光」という冊子がありますが、例えば「繰絲要點」には「いとりのかんじんなこと」という振り仮名が付いています。そして、例えば「二」とりゆにきづけ」の説明では「繰絲湯は餘り低温度と解が悪しく餘り高温度と繭が浮き上がりますから平均百五十度位の温度が適当です。」には「とりゆはあまりぬるすぎると、ほぐれがあしく、あまりあつすぎるとまゆがうきあがりまますから、ならし百五十度くらいのおつさがころあいです」と振り仮名が振ってあります。

新聞には、合格者が少ないので、これからは優しく言い換えるとなりましたが、不合格は初めから分かっていたのではないかと疑わせます。それとも、昔より指導者に「配慮」というものが無くなったのかな？ (神)



## 北島議員の決算総括質疑より 国保税値上げは市の持ち出しを減らすため

### 昨年度繰越金が

### 6億円も

市は新型インフルエンザの流行などで、このまま行くと平成二二年度は国保財政に大きな赤字が出ると言っていました。国保運営協議会や議会に値上げを認めさせ、四月から国保税が平均で四・五%値上げされました。しかしこのほど明らかにした昨年度決算では、繰越金が六億円も出ています。値上げしても足りない四億六千万円を市財政から繰り入れるは、実際に今年の予算に繰り入れをしているのは二億六千万円だけです。残りの二億円は補正予算で追加すると言ったことでした。六億円繰越が出たことにより繰り入れせずに済むことになりました。

値上げは、増加する医療費を賄うためではなく、市財政から出している繰り入れを減らす事が目的だったようです。

### 桐生市は繰り越して

### 値上げを圧縮

桐生市では三億円余剰金が出る事が明らかになった時点で、予定した値上げを圧縮して、住民負担を抑える措置をとりました。

繰越金が増えることを内緒にして値上げを決め、市の財政からの繰り入れを減らす伊勢崎市と、繰越金で値上げをおそえた桐生市との違いはどこにあるのでしょうか。

国保税の値上げの根拠が崩れた今「値下げせよ」の声を大きくあげていきましょう。

### 生活保護世帯の

### 預金まで差し押さえ

高い保険料払いきれない世帯が急増、保険証を取り上げるといふ厳しいペナルティがかけられています。先日市は、生活保護を受けてい

るある世帯の預金を差し押さえました。「このまま滞納していると保険証が取り上げられてしまうから、国保税に充当するため善意で差し押さえた」と説明しています。

税金で生活の援助を受けている、困窮世帯の預金まで差し押さえるというのは、滞納があるからとはいえず、みながされたら、保険証はあっても病院には行けません。

「支払えなかったら窓口に来てください」と言っていますが、窓口に来た人がこの結果です。「払えない人はすべて悪質滞納者」という対応なのです。

桐生市は伊勢崎市から比べて厳しい財政状況です。「温かい思いやり市政」をスローガンにしている伊勢崎市ですが、無いのはお金でしょうか。「市民を思いやる温かい心」でしょうか



今回の無料法律相談は、九月二〇日(月)午後六時から。予約制です。お申し込みは、地区委員会(二五・四八五四)か長谷田(〇九〇・二九三五・九九六三)まで。生活相談は、随時受け付けています。上記の携帯に気軽にお電話ください。